

同一試験問題に関するガイドライン

令和 7 年 5 月 29 日

高等専門学校機関別認証評価委員会決定

3 巡目（平成30年度～令和 6 年度）の高等専門学校機関別認証評価では、前々年度と前年度または前年度における本試験・追試験・再試験等との間で同一の試験問題が出題されていたことに関して、多くの高等専門学校（以下、「高専」という。）に改善を要する点が指摘された。同一の試験問題を出題しないことは、後述の問題点を鑑みて、当然のことながら徹底すべきものである。

このことを踏まえ、4 巡目（令和 7 年度～令和13年度）の高等専門学校機関別認証評価の実施にあたり、同一試験問題に対する考え方を評価者側と受審校側で共有するためのガイドラインを高等専門学校機関別認証評価委員会として策定し、各高専に示すこととした。

本ガイドラインは、令和 7 年 2 月に実施した追補研修会配布資料「機関別認証評価の受審に向けた適切な自己点検・評価の実施について」の内容を改めて取りまとめたものである。各高専においては、本ガイドラインに記された同一試験問題に関する考え方、及び同一試験問題と判断される事例を参照のうえ、適切な試験問題の作成に努めていただきたい。

1. 同一試験問題に関する考え方

○ 同一試験問題と認める基準

機関別認証評価では、試験問題の80%以上が前々年度と前年度または前年度における本試験・追試験・再試験等との間で同一と認められる場合は、同一試験問題が出題されたと判断する。割合の算出にあたっては、問題数を基本に計算する。配点が明示されている場合は、点数で計算して判断することもある。同一試験問題が80%以上使用されている授業科目が 1 科目でもあることが確認されれば、学校として改善を要する点の指摘を受ける可能性があることを十分に留意されたい。

なお、当該基準は80%未満であれば同一試験問題を使用しても問題ないという趣旨ではない。また、当該基準は機関別認証評価において設ける最終判断基準であり、より公正で適切な作問の工夫を推進するため、当然のことながら学校が自主的に当該基準を上回る（例えば70%以上等）基準を設けることは何ら差し支えない。

試験問題が複数の小問で構成されている場合、機関別認証評価においては、小問ごとにその問題が同一年度または前年度における本試験・追試験・再試験等の問題として出題されているか否かを判断する。すべての小問についてチェックの結果、同一問題と判断される小問が80%以上ある場合には、同一試験問題が出題されたと判断する。

○ 機関別認証評価において同一試験問題が出題されているかチェックする試験の範囲

- ・ チェックする試験は、定期試験（中間試験、期末試験）、追試験、再試験、単位追認試験等。
- ・ 受審年度の前年度における上記の試験問題間の同一性、及び前々年度の試験問題との同一性をチェックするため、学内で同一試験問題が出題されていないことの確認を継続的に行うこと。

○ 同一試験問題を使用することの問題点

- ・ 同一試験問題が繰り返されると、学生は単に過去問の暗記に頼るようになり、深い理解や応用力を養う機会が失われる。本来、試験とはその科目の中で理解すべきことのうち、どの程度理解し、応用力を身に付けているかを判断するために行うものであるため、パターンの暗記や過去問対策に偏った学習とならないように留意すべきである。
- ・ 訪問調査時の現役学生への意見聴取において、定期試験の過去問題を入手可能な学生と入手

が困難な学生がおり公平な成績評価となっていないので、改善して欲しいとの意見がある。こうした状況も踏まえ、学校は、同一試験問題を使用することにより学生間の情報格差によって不公平な成績評価が生じる問題に向き合うべきである。

2. 同一試験問題と認められる事例

同一試験問題とは、一字一句同一の問題以外に、本質的に同一の内容の問題についても、同一と判断する。本質的に同一の問題と判断する事例を①～④として以下に示す。

ただし、同一試験問題か否かは、単純な暗記問題とならないような作問の工夫がされているか、解を導くにあたって十分な考察を必要とするかなど、個別の判断を要するものも多いことから、どのような問題によれば学生の理解や応用力が測られ公平な成績評価に結び付くかを念頭に、各校の判断の下で適切に設計されるべきものである。

- ① 問題文が同じで、数値や単位等が異なる場合
 - ② 出題順が変更されている場合
 - ③ 問題文や選択肢の順序が変更されているが、内容が本質的に変わらない場合
 - ④ 問題文や選択肢が部分的に改変されているが、内容が本質的に変わらない場合
-

① 問題文が同じで、数値や単位等が異なる場合

問題A 1：次の不定積分を求めなさい。 $\int \sin(3x)dx$

問題A 2：次の不定積分を求めなさい。 $\int \sin(5x)dx$

理由：数値が異なるのみで、どちらも次のsin関数の積分公式を使う。

$$\int \sin(ax)dx = -\frac{1}{a} \cos(ax) + C$$

なお、cos関数やtan関数の積分の問題であれば、同一問題と見なされない。

② 単に出題順序が変更されている場合

問1、問2、問3、問4、問5 ⇒ 問4、問2、問5、問1、問3

③ 問題文や選択肢の順序が変更されているが、内容が本質的に変わらない場合

問題B 1：次の単語を正しい順番に並べ替え、文末にピリオド(.)を付けて文を完成させなさい。

the / bought / she / book / I / yesterday / read

問題B 2：次の単語を正しい順番に並べ替え、文末にピリオド(.)を付けて文を完成させなさい。

I / book / she / bought / the / read / yesterday

理由：正解は、”I read the book she bought yesterday.”である。単語の順序は異なっているが、選択肢は同じ。

問題C 1：以下の研究倫理に関する文章の中から正しくないものを選びなさい。

- (1) 研究データを共有する場合、共同研究者以外の第三者に提供するには、データの提供元や研究参加者の同意を得ることが必要である。
- (2) 研究における剽窃は、他人の成果や言葉を自分のものとして発表する行為であり、重大な研究不正行為である。
- (3) 動物実験において、実験動物の苦痛を最小限にする配慮は倫理的な要求事項ではない。

問題C 2：以下の研究倫理に関する文章の中から正しくないものを選びなさい。

- (1) 動物実験において、実験動物の苦痛を最小限にする配慮は倫理的な要求事項ではない。
- (2) 研究データを共有する場合、共同研究者以外の第三者に提供するには、データの提供元や研究参加者の同意を得ることが必要である。
- (3) 研究における剽窃は、他人の成果や言葉を自分のものとして発表する行為であり、重大な研究不正行為である。

理由：正解は問題C 1 の(3)、C 2 の(1)である。選択肢の順番が異なるのみ。

④ 問題文や選択肢が部分的に改変されているが、内容が本質的に変わらない場合

問題D 1：“What is your name?” を用いて間接疑問文を作りなさい。

問題D 2：“What is his name?” を用いて間接疑問文を作りなさい。

理由：問題D 1 の正解例は、“Could you tell me what your name is?” である。

どちらも間接疑問文の語順を問う問題であり、疑問文が酷似している。異なる疑問文を用いて作問すれば同一問題と見なされない。

以 上